学校番号	209

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学ＩA演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	基本と演習テーマ　数学Ⅰ＋A						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・将来の医療系等の進路に向けて、数学的な基礎知識をつけていきます。
・進路実現のために必ず予習復習をすること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに数学と人間の活動の関係について、認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	整式、２次関数、三角比における基本的な概念、原理･法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 整式、２次関数、三角比において、事象を数学的に表現･処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり､思考の過程を振り返り多面的に考えたりすることを通して、整式、２次関数、三角比における数学的な見方や考え方を身につけ、表現できる。	整式、２次関数、三角比の考え方に関心をもつとともに､数学のよさを認識し､それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数と式	数と式	a: 事象を式で表現することや、式を事象に目的に応じて変形することができる。 b: 1つの文字に着目したり、置き換えたりするなどの様々な見方をして式を変形する方法を身につけている。 c: 具体的な事象の考察に式の展開や因数分解などを活用しようとしている。	小テスト 定期考査 観察	小テスト 定期考査 観察	授業態度 課題 観察
2	2次関数	2次関数	a: 基本的な平方完成やグラフを描き、最大値･最小値を求めることができる。 b: 2次関数とグラフの値の変化や最大値･最小値を考察することができる。 c: 具体的な事象の考察に2次関数や 2 次関数のグラフを活用しようとしている。	小テスト 定期考査 観察	小テスト 定期考査 観察	授業態度 課題 観察
3	図形と測量	図形と測量	a: 三角比の性質や相互関係を用いて、三角比を値として処理できる。 b: 三角比の表から正弦・余弦・正接の値を求める方法や、角度に対する三角比の値の変化について考察することができる。 c: 直角三角形の3辺の比から三角比を定義し、鈍角に対する三角比へ拡張し、角の大きさに対応する三角比という計量の考えの有用性を認識しようとしている。	小テスト 定期考査 観察	小テスト 定期考査 観察	授業態度 課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度